

スイバ (酸い葉)

名前の意味：酸^いっぱい^す葉の意味。葉や茎^{くき}にはシュウ酸^{さん}があるので、かじると酸^すっぱい。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

(タデ科の栽培^{さいばいしよくぶつ}植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた

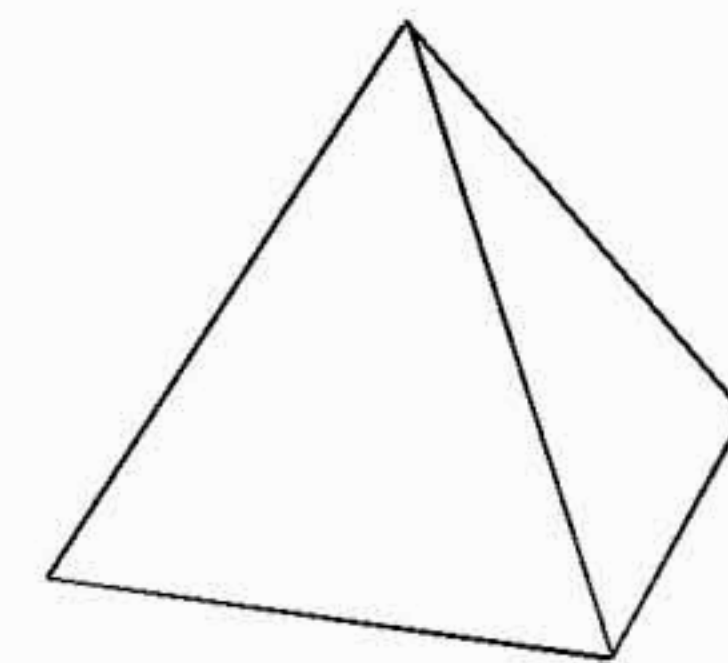
分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：葉のつけ根にさやのある頑丈^{がんじょう}な茎^{くき}、矢尻形^{やじりがた}の葉、小さな緑色の花、三角錐^{さんかくすい}の実。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁^{りべん}、6裂^{れつ} (果実の時は3裂^{れつ}にみえる)



三角錐

花の時期：4 - 5月

食べ方：子供が遊びにかじる

見分け方：ギシギシとは、葉が矢尻形^{やじりがた}になることで区別できる。アレチギシギシとは、茎が太くてみずみずしいこと、枝分かれが少ないことで区別できる。スイバは株に雄雌^{おすめす}の区別があるが、ギシギシやアレチギシギシにはない。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)